

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組：田仲）（2組：薬師）（3組：田仲）（4組：薬師）（5組：田仲）（6組：薬師）（7組：薬師）

使用教科書：（「現代の国語」（筑摩書房））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言語を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>「境目」</p> <p>【知識及び技能】 「境目」という言葉を通して、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「境目」を通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「境目」 問いかける力を伸ばす</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「境目」を通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>「ことばとは何か」</p> <p>【知識及び技能】 ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解する。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「ことばとは何か」 情報を正確に読み取る</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握し、さらに発展的な文章を理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
<p>「ことばがつくる女と男」</p> <p>【知識及び技能】 本教材を通して、ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「ことばがつくる女と男」 書くことで世界とつながる</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 本教材を通して、ことばには認識や思考を支える働きがあることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>「名付けと所有」</p> <p>【知識及び技能】 言葉の認識や思考を支える働きは、対象物の定義する機能が関係していることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、これまでの学習内容を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「名付けと所有」と「ことば」 言葉の定義やその補助プリントを関係づけて活用する。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 言葉の恣意的な定義が、認識や思考を支える働きを作り出していることを理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体・語句などの表現の仕方を工夫できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	5

1 学期

	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>「開かれた文化」</p> <p>【知識及び技能】 「名付けと所有」との関係性の中で、教科書本文の「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の違いを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラム女性がスカーフを身に付けることについて、「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の立場からそれぞれ説明し、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「名付けと所有」とのつながりを踏まえて、「開かれた文化」さまざまな視点から読み解く</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 教科書本文の「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の違いを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラム女性がスカーフを身に付けることについて、「『文化相対主義』」と「文化相対主義」の立場からそれぞれ説明し、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>「主体という物語」</p> <p>【知識及び技能】 「ことばとは何か」およびこれまでの知識を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「近代的な主体概念」と「文化相対主義」における主体概念の立場の違いを認識し、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「主体という物語」について、筋道を立てて論述する</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	<p>「魔術化する科学」</p> <p>接続詞の働きを確認しながら、段落相互の関係を適切に捉える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 価値中立的なものと考えられてきた「科学の知」が、技術と結びついたときにおよぼす影響を適切に読み取り、考えを深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 「科学」について適切に読み取り、現代の「科学」をどのように考えるべきかまとめることができる。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント</p>	<p>【知識及び技能】 接続詞の働きを確認しながら、段落相互の関係を適切に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 価値中立的なものと考えられてきた「科学の知」が、技術と結びついたときにおよぼす影響を適切に読み取り、考えを深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p> <p>【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方理解して使用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<p>・指導事項 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう</p>	<p>【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

3 学 期	「ポスト真実時代のジャーナリズム」 【知識及び技能】 各意味段落の内容を適切に読み取り、要約する。 【思考力、判断力、表現力等】 「ポスト真実時代」とはどのような時代かを適切に読み取り、メディアリテラシーの力を向上させようと考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 「ポスト真実時代」とはどのような時代かを適切に読み取り、メディアリテラシーの力を向上させることができる。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」、「大学入試漢字TOP2000」、補助教材プリント	【知識及び技能】 各意味段落の内容を適切に読み取り、要約することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「ポスト真実時代」とはどのような時代かを適切に読み取り、メディアリテラシーの力を向上させようと考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	8
	評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう 【知識及び技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を利用して使用する。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	・指導事項 【実践】評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう	【知識・技能】 引用する際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、推論の仕方を理解して使用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
						合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1組：朝比奈）（2組：田中）（3組：薬師）（4組：田中）（5組：薬師）（6組：田中）（7組：朝比奈）
 使用教科書：（「言語文化」（大修館書店））

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする。	・指導事項 古文に親しむ ・古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに慣れる。 ・話のおもしろさを味わう。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ・僧が「そら寝」に気付いたか否かについて意見を発表している。 ・笑話としてのおもしろさを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	9
羅生門 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 言葉の紡ぐ世界 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 補助教材プリント	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
「漢文入門」	・指導事項	【知識・技能】				

<p>「蛇足」 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとする。 ・「蛇足」をはじめとする故事成語に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとする。</p>	<p>漢文に親しむ ・漢文訓読のきまりを理解する。 ・「蛇足」の読解を通して、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。</p>	○	○	○	9
<p>『土佐日記』『門出』</p> <p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 当時の「旅」のとらえ方を知る 作者の心情をとらえる。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」「完全マスター古典文法」「重要古文単語315」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、当時の考え方を踏まえて、他者と関わりながら考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>『十八史略』『鶏鳴狗盗』</p> <p>【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、</p>	<p>・指導事項 現代に生きる言葉 登場人物の関係を整理し、話の展開をとらえる。 ・この話から生まれた言葉について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。</p>	○	○	○	9

	<p>我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。 						
	<p>『徒然草』『神無月のころ』</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとする。 	<p>・ 指導事項 自然へのまなざし ・ 作者が季節や景物を表する表現の特徴をとらえる。 ・ 作者の感動の内容を読み取る。 ・ 作者の心情の変化を読み取る。</p> <p>・ 教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語 315」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。 	○	○	○	7
	<p>『夢十夜』第一夜</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとする。 		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとしている。 	○	○	○	9
	<p>定期考査</p>			○	○		1
2 学 期	<p>『伊勢物語』『芥川』</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとする。 	<p>・ 指導事項 人との交わり ・ 物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・ 歌に込められた登場人物の思いをとらえる。</p> <p>・ 教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語 315」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・ 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。 	○	○	○	9

<p>『論語』 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとする。 ・『論語』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとする。</p>	<p>・指導事項 漢文に親しむ ・漢文訓読のきまりを理解する。 ・『論語』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>				9
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>城の崎にて</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとする。</p>	<p>・指導事項 文学と人生 ・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>「漢詩」</p> <p>【知識・技能】 ・漢詩の形式、押韻などの基本事項を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深める。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・それぞれの作品に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとする。</p>	<p>・指導事項 漢詩に親しむ ・漢詩のきまりを理解する。 ・それぞれの作品を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</p> <p>・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」「精選漢文」 補助教材プリント</p>	<p>【知識・技能】 ・漢詩の形式、押韻などの基本事項を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・それぞれの作品に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」</p> <p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作</p>	<p>・指導事項 自然へのまなざし ・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。</p>	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むた</p>				

品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとする。	・作者の人物像をとらえる。 ・教材 教科書、「カラー版新国語便覧」 「完全マスター古典文法」 「重要古文単語315」 補助教材プリント	めに必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
						合計
						105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位 2

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組～7組 佐々木順子）

使用教科書：（新地理総合・新詳高等地図）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】 地図や地理情報システムを使い、地理的な方法をまとめる力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理的事象を多面的、多角的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の多様な生活文化を尊重することを学ぶ。

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地図を使って、グローバルな視点から国際理解のあり方を学ぶ。	位置や分布の規則性を見出す。場所の地域的特色を見出す。	地理的な課題を主体的に追及、解決しようとする力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 世界地図の読図や国家間の結びつき、世界的視野からの日本の位置を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、多角的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 地図の図法、デジタル地図の活用 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日常生活でみられる様々な地図や地理情報システムの活用。 【思考・判断・表現】 用途に応じ、多角的に表現する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 各人が白地図等で学んだことを表現できるよ	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
単元 【知識及び技能】 地域の自然環境の特色特に気候や植生、土壌について考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、多角的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 地図の図法、デジタル地図の活用 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ケッペンの気候区分等が理解できるようにする。 【思考・判断・表現】 地域の気候的特徴が判断できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 応用問題が解けるようにする。	○	○	○	6	
単元 【知識及び技能】 地域の自然災害の特色と自然災害への備えや対応について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な地域づくりを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 災害の種類や特徴を総合的に判断できるようにする。	・指導事項 地図の図法、デジタル地図の活用 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 地図学習のまとめとしての、地域調査のレポート提出。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	
2 学期	単元 生活文化の多様性と国際理解 追及事例 ヨーロッパ 【知識及び技能】 地域統合が人々の生活や産業に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域統合に関する考察を深め、応用問題にも対応できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを総合的に判断できる力を養う。	・指導事項 地図を使っての位置関係や人やモノの流れをつかむ。 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 EU統合までの流れとヨーロッパ文化や民族、気候等の環境。 【思考・判断・表現】 応用問題。 【主体的に学習に取り組む態度】 まとめプリントの作成、提出。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
単元 生活文化の多様性と国際理解 追及事例 東アジア・ 【知識及び技能】	・指導事項 地図を使っての位置関係や人やモノの流れをつかむ。 ・教材	【知識・技能】 EU統合までの流れとヨーロッパ文化や民族、気候等の環境。 【思考・判断・表現】					

地域統合が人々の生活や産業に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域統合に関する考察を深め、応用問題にも対応できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを総合的に判断できる力を養う。	教科書、資料集、地図帳 ・一人2台端末の活用 等	応用問題。 【主体的に学習に取り組む態度】 まとめプリントの作成、提出。	○	○	○	22
定期考査			○	○	○	1
単元 地球環境問題 資源・エネルギー問題 都市・居住問題 【知識及び技能】 地球環境、資源、都市・居住問題が人々の生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応用問題にも対応できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを総合的に判断できる力を養う。	・指導事項 地図を使っての位置関係や人やモノの流れをつかむ。 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人2台端末の活用 等	【知識及び技能】 地球環境、資源、都市・居住問題が人々の生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応用問題にも対応できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを総合的に判断できる力を養う。	○	○	○	12
3学期 定期考査			○	○	○	1
						合計
						70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位 2
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1組～7組 佐々木）
 使用教科書：（明解 歴史総合（帝国書院））
 教科 0 の目標：
 【知識及び技能】 現代世界の地史的な特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 地域や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 地域や歴史に関する課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本の国史や歴史に対する理解することや、他国や他地域の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本の歴史を理解することや、他国や他地域の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
---	---	---

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付きが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。	○	○		2
単元 近代化への問い 【知識及び技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを編集	【知識・技能】 近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	2
単元 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料				

<p>18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイル編集</p>	<p>を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
<p>単元 欧米諸国における近代化</p> <p>【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイル編集</p>	<p>【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元 近代化の進展と国民国家形成</p> <p>【知識及び技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイル編集</p>	<p>【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元 アジア諸国の動揺と日本の開国</p> <p>【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイル編集</p>	<p>【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1

				○	○	○	4
	<p>単元 近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集める</p>	<p>【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化への問い 【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱うことができる。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集める</p>	<p>【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<p>単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集める</p>	<p>【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	3
2 学期	定期考査			○	○	○	1
	<p>単元 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集める</p>	<p>【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6

<p>単元 日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元 再出発する世界と日本 【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集</p>	<p>【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元 グローバル化への問い 【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組める。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集</p>	<p>【知識・技能】 グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
<p>単元 冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集</p>	<p>【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>単元 多極化する世界 【知識・技能】</p>	<p>・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察</p>	<p>【知識・技能】 冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、</p>				

3 学 期	冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集	理解している。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元 グローバル化のなかの世界と日本 【知識・技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解できる。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究できる。	・指導事項 史実の確認、歴史的資料の読み取り、考察 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等 データでプリントを配信、ファイルを集	【知識・技能】 冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
							合計
定期考査				○	○	○	1
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： (1,2組：遠藤、高橋、畠山)、(3,4組：遠藤、高橋、畠山)、(5,6組：高橋、畠山、船木)、(7組：遠藤、船木)
 使用教科書： (NEXT 数学 I (数研出版))

教科 数学 I の目標：
 【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける
 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	命題、図形の性質や計量、関数関係やデータの散らばりや変量間の関係など、様々な事象について論理的に考察して表現する力、問題の解決過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 単元 第1章 数と式 【知識及び技能】 次の事項を身につけることができるよう指導する ・簡単な無理数の四則計算をする ・2次の乗法公式及び因数分解の公式を理解する 不等式の性質及び解の意味を理解し、解を求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する ・日常の事象や社会の事象などを	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物				

1 学期	<p>・ 1次元空間、2次元空間を数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む 			○	○	○	30	
	定期考査			○	○		1	
	<p>B 単元 第2章 集合と命題</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>集合と命題に関する基本的概念を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題テスト ・ 課題演習 ・ 提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題テスト ・ 課題演習 ・ 提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の取り組み ・ 課題演習 ・ 提出物 		○	○	○	6
	定期考査			○	○		1	
	<p>C 単元 第3章 2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する ・ 2次関数の最大値や最小値を求める ・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する ・ 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求める <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフかくなどして多面的に考察する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・ 学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・ 課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題テスト ・ 課題演習 ・ 提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題テスト ・ 課題演習 ・ 提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の取り組み ・ 課題演習 ・ 提出物 		○	○	○	30

【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む							
定期考査				○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： （1組：高橋） （2組：茂木） （3組：茂木） （4組：茂木） （5組：遠藤） （6組：遠藤） （7組：高橋）
 使用教科書： （NEXT 数学A（数研出版））
 教科 数学 の目標：
 【知識及び技能】 数学の基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し表現・処理する技能を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象および事象間の関係を論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用する態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	図形の性質を見出し論理的に考察する力、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する ・具体的な事象を基に順列及び組合せの総数を求めること 【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
A 単元 第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求める ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求める ・条件付確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付確率を求める 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりする 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物	○	○	○	10

1
学
期

	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 									
	定期考査					○	○	1		
2 学 期	B 単元 第2章 図形と性質 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・三角形に関する基本的な性質について理解する ・円に関する基本的な性質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 				○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	B 単元 第2章 図形と性質 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・円に関する基本的な性質について理解する ・空間図形に関する基本的な性質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組む ・学習内容をノート等にまとめるなど工夫し、理解しようとする ・課題や提出物に対し前向きに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 				○	○	○	12
定期考査						○	○		1	

3 学 期	C単元 第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・課題テスト ・課題演習 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組み ・課題演習 ・提出物 	○	○	○	17	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： (1組：毛塚) (2組：毛塚) (3組：毛塚) (4組：毛塚) (5組：野宮) (6組：野宮) (7組：野宮)
 使用教科書： (化学基礎 (数研出版))

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】 自然の物事・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な知識・技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 自然の物事・現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察などを行い、得られた結果をもとに分析および考察し思考力・判断力・表現力を育む。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の物事・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などについて理解するとともに、科学記述の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深めようとする。また、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けるようにする。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に関わり、これらの中に問題を見出し、見通しを持って実験・観察を行い、その結果を分析・考察する中で、科学的な考え方や表現方法を理解するとともに、科学的に探究する活動を通して、規則性を見出したり課題を解決したりする力を養う。	身の回りの物質、化学変化と原子・分子、酸と塩基、酸化還元などに関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然現象に対し、科学的に見ることができる態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
第I編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 【知識及び技能】 ・ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーなどの実験を行い、基本操作を習得するとともに、結果や考察を適切に記録できる。 ・炎色反応や沈殿反応から成分元素を特定することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ある混合物を分離するのに、ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの中から、適切な方法を選ぶことができる。	混合物・純物質	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 ・演習課題 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・演習課題 ・実験レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・提出物(ワークブック、実験レポート、課題)				

1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元素について理解し、元素記号と元素名を覚えることができる。 ・同素体とは何かを理解し、代表的な元素の同素体の名称を挙げることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元素と単体の意味の違いについて説明することができる。 ・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。 	物質とその成分 【実験：基本操作・アルカリ金属】				○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質を構成する粒子は熱運動しており、温度が高くなると熱運動が激しくなることを理解することができる。 ・物質の状態は、粒子の熱運動及び粒子間に働く力の大小で決まることを理解することができる。 ・物理変化と化学変化の違いについて理解することができる。 ・絶対温度について理解し、絶対温度とセルシウス温度を相互に換算することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 ・黒板の内容をノートやプリントに書 	物質の三態と熱運動							
	<p>第2章 物質の構成粒子</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽子・中性子・電子の電荷及びそれらの質量比について理解する。 ・原子番号や質量数から陽子・中性子・電子の数を求めることができる。 ・放射性同位体の日常生活における利用例について知る。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子殻について理解し、原子番号20までの原子の電子配置を、電子殻を用いて表現することができる。 	原子とその構造	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 ・演習課題 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・演習課題 ・実験レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・提出物(ワークブック、実験レポート、課題) 				○	○	○
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元素の周期表の配列について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周期律について理解し、適切な文章で表現できる。 	元素の周期表								

<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識・技能】 ・イオン化エネルギーや電子親和力などの元素の周期律と価電子数の変化との関係を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・単原子イオンの生成を電子配置から説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 ・黒板の内容をノートやプリントに書き止め、要点をまとめることができる。 ・小テストに向けた準備や、課題や提出物に対し前向きに取り組むことができる。</p> <p>第3章 粒子の結合</p>	イオンの生成	<p>【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 ・演習課題 ・提出物</p> <p>【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・小テスト ・演習課題 ・実験レポート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・提出物(ワークブック、実験レポート、課題)</p>	○	○	○	2
<p>【知識及び技能】 ・イオン結合は、陽イオンと陰イオンの静電的な引力で生じることを理解し、一般に金属元素と非金属元素はイオン結合を作りやすいことを知る。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 イオン式を用いて適切な組成式を書くことができる。</p>	イオン結合、イオン結晶					
<p>【知識及び技能】 ・価電子と、共有電子対・非共有電子対について理解する。 ・NH₄⁺を例として、配位結合ができる仕組みを理解する。 ・電気陰性度について理解する。 ・結合の極性が生じる理由について理解する。 ・代表的な共有結合の結晶及び高分子化合物の構造と用途を知る。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・電子式と構造式を使って、分子を表現することができる。 ・電気陰性度と分子の形から極性の有無を判断し、表現することができる。</p>	共有結合 電気陰性度と分子の極性 【実験：極性と溶解】		○	○	○	4
<p>【知識及び技能】 ・自由電子の性質について理解する。 ・金属の電気伝導性・熱伝導性・展性・延性等の性質を理解する。 ・代表的な合金の名称と用途について知る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 ・黒板の内容をノートやプリントに書き止め、要点をまとめることができる。 ・小テストに向けた準備や、課題や提出物に対し前向きに取り組むことができる。</p>	金属結合					

<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式</p> <p>【知識・技能】 ・アボガドロの法則を理解し、気体の体積・物質質量・粒子数・気体の質量の変換ができる。</p> <p>【知識・技能】 ・相対質量と原子量の考え方について理解し、相対質量と存在比から原子量を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 原子量から分子量・式量を適切に求めることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・物質質量と粒子数、質量、標準状態における体積の関係を理解し、それぞれ換算することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・溶質の質量と溶液の質量から重量パーセント濃度を求めることができる。溶質の質量と溶液の体積からモル濃度を求めることができる。</p>	<p>物質質量と化学反応式</p> <p>原子量・分子量・式量</p> <p>物質質量</p> <p>溶液の濃度</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 ・演習課題 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・演習課題 ・実験レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・提出物(ワークブック、実験レポート、課題) 	○	○	○	16

<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反応物と生成物が分子式やイオン式で与えられているとき、化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式の係数比が物質質量比に対応していることを理解する。 	化学反応式					
<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式から、物質の質量・物質の体積を求めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 ・黒板の内容をノートやプリントに書き止め、要点をまとめることができる。 ・小テストに向けた準備や、課題や提出物に対し前向きに取り組むことができる。 	<p>化学反応式の量的関係</p> <p>【実験 化学変化と物質質量】</p>					
定期考査			○	○		1
第2章 酸と塩基の反応		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 ・演習課題 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・演習課題 ・実験レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・授業ノート・プリント ・提出物(ワークブック、実験レポート、課題) 				
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基の定義について理解することができる。 ・代表的な酸と塩基の価数・強弱を答えることができる。 	酸と塩基					
<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素イオン濃度とpHの関係について理解し、計算によって適切な値を求めることができる。 	水素イオン濃度とpH		○	○	○	18

<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中和反応、中和点の意味について理解することができる。 塩の種類と性質について理解し分類することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩の組成式からもとの酸と塩基を求め、適切に塩の種類と性質を分類することができる。 	<p>酸と塩基の中和反応 塩の種類と性質</p>					
<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液中の反応において、中和反応の量的関係が計算できる。 <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 黒板の内容をノートやプリントに書き止め、要点をまとめることができる。 小テストに向けた準備や、課題や提出物に対し前向きに取り組むことができる。 	<p>中和反応の量的関係 【実験 中和滴定】</p>					
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第3章 酸化還元反応</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化・還元の定義について理解し、説明することができる。 酸化数の定義を理解し、適切に求めることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断することができる。 	<p>酸化と還元</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小テスト 定期考査 演習課題 提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 演習課題 実験レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 授業ノート・プリント 提出物(ワークブック、実験レポート、課題) 				
<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の化学反応式を見て、酸化数の変化から酸化か、還元かを判断することができる。 	<p>酸化還元反応（電子を含むイオン反応式）</p>					

3 学 期	<p>【知識・技能】 酸化剤・還元剤について理解し、半反応式を用いて適切に表現することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 酸化還元反応を半反応式から求め、量的関係から計算を用いて求めることができる。</p>	酸化剤と還元剤 【実験 酸化・還元】				○	○	○	14
	<p>【知識・技能】 ・金属のイオン化傾向について理解し、金属と酸素・水・酸との反応について理解する。</p>	酸化還元反応 金属のイオン化傾向							
	<p>【知識・技能】 ・電池の原理について、酸化還元反応と関連付けて理解する。</p>	電池 【実験 電池】							
	<p>【知識・技能】 ・金属やプラスチックは、それらの特性を生かして加工され利用されていることを理解する。 ・使用済みの金属やプラスチックが、回収後、再利用されるまでの過程を理解する。 ・洗剤の成分と化学的な働きについて理解する。 ・洗剤の使用量に適切な量があること理由を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・授業に耳を傾け、前向きに授業に取り組むことができる。 ・黒板の内容をノートやプリントに書き止め、要点をまとめることができる。</p>								
	学年末考査					○	○		1
									合計
									70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組～7組男子：稲見・永春）（1組～7組女子：稲見・渡辺）

使用教科書：（現代高等保健体育・ステップアップ高校スポーツ）

教科 保健体育 の目標：保健や体育で得た知識と技能を活用し、生涯にわたり率先、また適切に使うことができるようにする。

【知識及び技能】 社会や健康、自己の課題を発見し、適切に判断・行動ができる思考力等を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 自己の体力や健康について課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。	実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。	率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>オリエンテーション・スポーツテスト（男女）</p> <p>授業の諸注意・ラジオ体操の確認、スポーツテスト（反復横とび・立ち幅跳び・長座体前屈・上体起こし・握力・ハンドボール投げ・50m走・シャトルラン）</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	6
【知識及び技能】	陸上競技（男女）	【知識及び技能】				

1 学期	<p>練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>短距離走 ・ケージアップの方法 ・基本ドリル（正しく歩く・速く歩く・ステップアップ・バリエーション） 短距離走、加速走 ・サーキットトレーニング ・レベティショントレーニング ハードル走 ・基本ドリル ・計測</p>	<p>練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>器械体操（男女） ・前転、後転、開脚前転、開脚後転、倒立、伸膝前転、伸膝後転。 ・実技テストに向けての個人練習</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	10
2 学期	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>ハンドボール（男） ・基本練習から応用練習 ・ジャンプシュート練習 ・ステップシュート練習 ・サイドシュート練習 ・ストシュート練習 ・対人練習 ・ゲーム</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>ソフトボール（男） ・キャッチボール ・トスバッティング ・ノックによる守備練習 ・試合</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>サッカー（女） ・リエンション（種目の特性、安全面の留意点及び施設の使用方法等について説明。ゲームング、ルール説明） ・リフティング、トラッピング、ドリブルの練習 ・キック練習（インサイドキック、インステップキック、アウトサイドキック、ヒールキック） ・近い距離、遠い距離のパスやシュート ・センターリングやCK、FK ・パス、ドリブル、シュートの総合練習</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>卓球（女） 基礎打ちから応用練習 ・パートナーとの連携を考えた打球コース ・サーブからの3球目攻撃 ・レシーブからの4球目攻撃 ゲーム練習</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>持久走（男女） ・3km走（女子）、4km走（男子）タイムトライアル</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	<p>持久走（男女） ・3km走（女子）、4km走（男子）タイムトライアル</p>	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	5

3 学 期	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	体育館棟で球技	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組む。</p>	体育理論（男女） ・健康の保持増進に寄与するトレーニング理論 ・生涯スポーツの取り組み方	<p>【知識及び技能】 練習で得た技能を最大限に発揮し、実技の試験に臨むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技練習時にポイントを理解し、各自の課題に向け練習に励むことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 率先して授業に参加し、安全に配慮して運動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	2

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1組：稲見）（2組：佐藤）（3組：稲見）（4組：佐藤）（5組：佐藤）（6組：佐藤）（7組：稲見）
 使用教科書：（現代高等保健体育・図説現代高等保健）
 教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 保健や体育で得た知識と技能を活用し、生涯にわたり率先、また適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 社会や健康、自己の課題を発見し、適切に判断・行動ができる思考力等を高める。
 【学びに向かう力、人間性等】 自己の体力や健康について課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む。

<p>【知識及び技能】 主体的に学んだ知識や技能を実生活中で生かし、情報活用能力を育む。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。</p>	<p>【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>
--	---	---

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
				○	○	○	
	<p>1 運動の考え方と実践 私たちの健康の促進 生活習慣病の予防と回復 がんの予防と予防 【知識及び技能】 ・健康の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方を定めていくことについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・教科書、プリント、パワーポイント等</p>	<p>【知識・技能】 ・健康の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○		○	4
	<p>2 がんの予防と回復 運動と健康 食事と健康 【知識及び技能】 環境要因、遺伝的要因によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交差種の発生により短期間で広がりがくることがあること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・教科書、プリント、パワーポイント等</p>	<p>【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○		○	4
	<p>3 体育・健康と健康 健康と健康 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・教科書、プリント、パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	<p>10 飲酒と健康 11 喫煙と健康 12 精神疾患の予防 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・教科書、プリント、パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 精神疾患の回復 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値</p>	<p>・教科書、プリント、パワーポイント等</p>	<p>【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神機能が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】</p>				

2 学 期	<p>職の育成などの個人への働きかけ、及び協力的な態度もめられた社会環境への適切な育成が必要であることについて、理解する。</p> <p>業務利用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び協力的な態度や行政的な対応など社会環境への対応が必要であることについて、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題、教道、業務利用の状況について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題、教道、業務利用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	・教科書、プリント、パワーポイント等	<p>【知識・技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原の出現、感染源に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>						5
	<p>16 感染症の予防 17 性感染症、エイズとその予防 18 健康に関する意識醸成・行動変革 【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な環境の相互作用など原因とから、認知、行動などの不調になり、精神障害が不安になった状態であることについて、理解する。</p> <p>精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	・教科書、プリント、パワーポイント等	<p>【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>						4
	定期考査								
3 学 期	<p>1 事故の発生と発生原因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	・教科書、プリント、パワーポイント等	<p>【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>						4
	<p>4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心臓蘇生法 【知識及び技能】 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の緊急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	・教科書、プリント、パワーポイント等	<p>【知識及び技能】 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の緊急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>						4
	定期考査								
									合計
									35

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1組～7組：干真）
 使用教科書：（ON! 1）

教科 芸術 の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の
 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情襟を培う。

科目 音楽 I の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようになる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	持 続 数 当
		歌	器	創					
ふざわしい発声を考え表情豊かに歌おう 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、攻勢を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持って歌唱する。 【学びに向かう力、人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	「校歌」 O sole mio 日本語の母音の発音 イタリア語の発音 イタリア歌曲の声の特徴 様々な歌唱表現 旋律や和声の特徴と歌唱表現指導事項 【一人一台端末の利用】練習用の音源を配布し、個人練習の環境を整える。	○	○		【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、攻勢を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

1 学 期	<p>ボディーパーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】リズム譜の読譜、曲想と手拍子や足踏みの関係を理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、攻勢を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持って演奏する。【学びに向かう力、人間性等】曲想と手拍子など音色や奏法との関わり、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	<p>Beat Canon ボディーパーカッション 楽譜の読み方、書き方 リズムの特徴と器楽表現 4拍子のリズムの創作</p>				<p>ボディーパーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】リズム譜の読譜、曲想と手拍子や足踏みの関係を理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、攻勢を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現意図を持って演奏している。【主体的に学習に取り組む態度】曲想と手拍子など音色や奏法との関わり、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>				10
	<p>表現を考えてギターを演奏しよう 【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現する。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって表現する。【学びに向かう力、人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>ギター奏法の基礎 ギターの構造と歴史 第三の男 ギター種類と様々な楽曲 コードとコードネーム 弾き語り挑戦 ルージュの伝言</p>				<p>【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって表現している。【主体的に学習に取り組む態度】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>				20
2 学 期	<p>コード進行をもとに工夫して編曲しよう 【知識及び技能】音を連ねたりしたときの響き、思恵などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージとかかわらせて理解する。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作るかについて表現意図をもって編曲する。【学びに向かう力、人間性等】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。</p>	<p>編曲に挑戦 Happy Birthday ストロークを工夫しよう テンポ・リズムを変化させよう コードとコードネーム</p>				<p>【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって表現している。【主体的に学習に取り組む態度】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。</p>				6
	<p>チャイムでアンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現する。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。【学びに向かう力、人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽</p>	<p>星に願いを 協力して音楽を作ろう 旋律の雰囲気を変化させよう 曲にふさわしい音色やテンポを工夫しよう</p>				<p>【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表現している。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもって表現している。【主体的に学習に取り組む態度】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。</p>				12

3 学 期	<p>作曲家の生涯と作品をたどろう</p> <p>【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。【学びに向かう力、人間性等】曲想や表現用の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>作曲家の生涯とその作品</p> <p>中世まで バロック時代 バッハの生涯について調べよう</p> <p>古典派 モーツァルトの楽曲を紹介してみよう</p> <p>ロマン派 好きな作品をプレゼンテーションしよう</p> <p>近・現代 様々な表現について考えよう</p>	<p>【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】曲想や表現用の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	12
								合計
								70

高等学校 令和6年度 1学年 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～6組
 教科担当者：松永鈴子 (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(書 I 光村図書)

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 多彩な書の美に親しむ
 【思考力、判断力、表現力等】 創作を通じ、自己の内面を表現する
 【学びに向かう力、人間性等】 名筆の技法や美にふれ、豊かな心を得る

<p>科目 書道 I の目標：</p> <p>【知識及び技能】 古典作品の書風、時代背景を学ぶ。文房四宝の使い方を習得する。効果的な表現するための基礎的な技術を身につけるようにする。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品を通して、いろいろな美しさを味わい、筆、墨、紙、などの用具・用材の特性を生かしながら創造的な自己の表現をもとめる。</p>	<p>【学びに向かう力、人間性等】 道具の準備をしっかりとる。集中して作品に取り組む姿勢。感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
---	--	--

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>書写から書道へ</p> <p>【知識及び技能】 書写と芸術書道との違いを認識する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 芸術書道への関心・意欲を高める</p>	<p>書写と書道の違い</p> <p>書道での基本的な学習方法を理解する</p> <p>教材 ・書道用具、教科書、プリント、ノート (以下、毎回持参)</p>	<p>【知識・技能】 書道芸術を学ぶことを理解している</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習する内容に関心をもち、主体的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	4
<p>唐の四大家に学ぶ 楷書の基本</p> <p>【知識及び技能】 基本的な用筆・運筆の技法、線質を生かした表現を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に則した用筆、運筆、字形について工夫する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む。書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う</p>	<p>楷書の成立と変遷</p> <p>・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑</p>	<p>【知識・技能】 古典の書体や書風、用筆や運筆について理解している。歴史的背景内容を理解している</p> <p>【思考・判断・表現】 楷書の古典の作品を味わい、表現を工夫している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	10
<p>磨崖の書に学ぶ 表現を広げよう</p> <p>【知識及び技能】 雄大な磨崖の書から新しい用筆法を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品との違いを存分に味わい表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>雄大な磨崖の書を味わい楽しむ</p> <p>・龍門石窟 ・鄭ぎ下碑</p>	<p>【知識・技能】 古典の書体や書風、用筆や運筆について理解している。歴史的背景内容を理解している</p> <p>【思考・判断・表現】 楷書の古典の作品を味わい、表現を工夫している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8

	表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む						
2 学 期	行書の基本 蘭亭序の臨書 ・行書の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身に着ける ・古典の書体や書風に則した用筆、運筆、字形、全体の構成について工夫する ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにする	・行書の成立と変遷 ・王羲之の人物像や書道史における位置づけ ・蘭亭序	・古典の書体や書風、用筆や運筆について理解している 基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形の構成を生かした表現を身に着けている 歴史的な背景や内容を理解している ・行書の書体や書風に則した用筆、運筆、字形、構成について工夫している ・主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
	行書 風信帖の臨書と鑑賞 ・行書の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身に着ける ・古典の書体や書風に則した用筆、運筆、字形、全体の構成について工夫する ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにする	・空海の人物像や書道史における位置づけ ・風信帖 ・半切2行書きに清書	【知識・技能】 古典の書体や書風、用筆や運筆について理解している 歴史的背景内容を理解している 【思考・判断・表現】 楷書の古典の作品を味わい、表現を工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
3 学 期	仮名の臨書と鑑賞 ・古筆に基づく基本的な用筆、運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身に着ける ・仮名の書体や書風に則した用筆、運筆、字形、全体の構成について工夫する ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにする	・仮名の成立と変遷 ・いろはは単体 ・連綿	【知識・技能】 古筆の書体や書風、用筆や運筆について理解している 歴史的背景内容を理解している 【思考・判断・表現】 古筆の作品を味わい、表現を工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
	蓬莱切れの臨書と鑑賞 ・仮名の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身に着ける ・仮名の書体や書風に則した用筆、運筆、字形、全体の構成について工夫する ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにする	蓬莱切れ 料紙に清書	【知識・技能】 古筆の書体や書風、用筆や運筆について理解している 歴史的背景内容を理解している 【思考・判断・表現】 古筆の作品を味わい、表現を工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	12
						合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 美術 I

教科：美術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：(1.2組：尾関) (3.4組：尾関) (5.6組：尾関)

使用教科書：(高校生の美術 I)

教科 美術 I の目標：
【知識及び技能】 西・東洋美術史について視座を深めながら、立体、平面の制作における各種技能を深める。
【思考力、判断力、表現力等】 イラストやデザイン立案に関する思考力を高め、色彩やデッサンのおいての表現力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】 講義及び作品発表の際の姿勢、制作後の美化の時間において協力し合う人間性を身につける。

科目 美術 I	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
西・東洋美術史について視座を深めながら、立体、平面の制作における各種技能を深める。	イラストやデザイン立案に関する思考力を高め、色彩やデッサンのおいての表現力を培う。	講義及び作品発表の際の姿勢、制作後の美化の時間において協力し合う人間性を身につける。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A アートによる自己紹介 【思考力、判断力、表現力等】 自らを客観視する力を培う 【学びに向かう力、人間性等】 アートの存在意義を学ぶ	・自己紹介のためのイラストを描き発表し、「アートとはコミュニケーション」であることを実感する。	【思考・判断・表現】 自らを客観視し、表現力のあるイラストを描けるかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 人前での発表に意欲的かどうか		○	○	2
B 色彩研究 【知識及び技能】 色の三原色など色彩の基礎知識を学び、平筆の扱いを身につける	・スケッチブックにマス目を作成し、すべてのマスが違う色彩で塗り、混色と彩色の技法を学ぶ。	【知識・技能】 課題目標を理解し、平筆によるべた塗りを丁寧に仕上げるかどうか				

1 学 期	定期考査									12	
	C 色彩構成 【知識及び技能】 グラフィックデザインの基本を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 抽象表現を立案する思考力を培う	・言葉によるテーマを決め、画面を曲線と直線で構成し、塗分け、グラフィックデザインの基本的思考を学ぶ。	【知識・技能】 色彩の対比や調和について応用できているか 【思考・判断・表現】 「素と密」などの構成について考えられているか							10	
	D ディスカッション 【思考力、判断力、表現力等】 議題に関して自分の思考を整理する力 【学びに向かう力、人間性等】 議論に参加する力	・「アートはこの世に必要なか」を議題に議論を進め、美術に対する思考を深めよう。 ・一人1台端末の活用を促す。	【思考・判断・表現】 発言の内容に議題の中心を捉え、分りやすい表現となっているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 相反する意見を捉え、しっかりと自分の意見を発表できるかどうか								2
	定期考査										
2 学 期	E キャラクターデザイン フィギュアの制作 【知識・技能】 立体制作の技能 【思考・判断・表現】 キャラクター立案の思考力 【主体的に学習に取り組む態度】 発表の場における真摯な態度	F ・オリジナルキャラクターを立案し、企画提案のためのコンセプトシートを作成する。 ・紙粘土を用いてフィギュアを制作する。	【知識・技能】 紙粘土を上手に扱えているかどうか 【思考・判断・表現】 オリジナルキャラクターを立案できているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 コンセプトシートの発表において姿勢や声の出し方などに気をつけているかどうか							16	
	G 自画像 コラージュ 【知識・技能】 自画像におけるデッサン力 【思考・判断・表現】 コラージュにおけるオリジナリティー	H ・自画像の制作により、デッサンの基礎知識を学ぶ。 ・雑誌の写真からイメージを広げ、フォトコラージュを作成し、平面制作における構成力をつける。	【知識・技能】 基礎的デッサン力を習得したかどうか 【思考・判断・表現】 面構成を理解し、表現できたかどうか								10
3 学 期	I 木彫ブローチの制作 【知識・技能】 鋸やヤスリの使い方を学ぶ	・ブローチの制作により、木材の扱い及び、鋸やヤスリの安全な使い方を身につける。	【知識・技能】 器具の使い方を習得したかどうか							6	
	J 模写 【知識・技能】 西・東洋絵画の歴史について学ぶ 【思考・判断・表現】 模写した名画からものの見方を学ぶ	・名画を模写することにより、画家たちの視点から、西、東洋の絵画史を学ぶ。	【知識・技能】 絵画の歴史について理解が深まったかどうか 【思考・判断・表現】 名画の成立に思いを馳せ、表現力を習得できたかどうか								12
										合計	
										70	

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 英語 科目 英語コミュニケーションI

教科：英語 科目：英語コミュニケーションI 単位数：3 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：（1、5組：中谷）（2、6組：青柳）（3、4組：福山）（7組：深田）
 使用教科書：（CREATIVE English Communication I）

教科 英語 の目標：
 【知識及び技能】 英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、
 【思考力、判断力、表現力等】 その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
 【学びに向かう力、人間性等】

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
Lesson1 Achieving Your Dreams	<題材内容とねらい> 大谷翔平選手は、高校時代に「目標達成シート」の作り方を教わり、自分の夢を達成した。	<文型・文法事項> to-不定詞/動名詞 <五領域の知識・技能> 日本語と英語の語順の違い				12

1 学期	Lesson2 What Do You Eat for Lunch?	<題材内容とねらい> 日本の弁当文化が世界の人々を魅了している。メッセージを食材で表現した弁当も登場してきている。	<文型・文法事項> 現在完了形／分詞の形容詞用法 <五領域の知識・技能> リズム・イントネーション	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson3 The Evolution of the Cellphone	<題材内容とねらい> テクノロジーの中でも発展が著しいのが携帯電話である。その歴史と将来的な発展を読む。	<文型・文法事項> 現在完了進行形／関係代名詞 <五領域の知識・技能> 意味のまとまり	○	○	○	12
	Lesson4 A Healthy Planet	<題材内容とねらい> 保護対象となる動物は人間の好みによって決まる傾向がある。「生態系サービス」を享受するため、あらゆる種の保護が重要だ。	<文型・文法事項> 助動詞+be+過去分詞／It seems that ... <五領域の知識・技能> ディスコースマーカー	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	Lesson5 The Adventures of Curious George's Creators	<題材内容とねらい> 世界的に人気を博す『おさるのジョージ』作者のレイ夫妻とジョージが戦火を逃れた足跡をたどる。	<文型・文法事項> 知覚動詞・使役動詞+O+C (=原形不定詞)／関係代名詞what 過去完了形・過去完了進行形／S+V+O (+O) (=疑問詞節) <五領域の知識・技能> 音の変化 考えや意図を伝える表現	○	○	○	18
	Lesson6 Messages about Happiness from Jose Mujica	<題材内容とねらい> 「世界一貧しい大統領」ホセ・ムヒカ氏の、来日時のスピーチ。国連の幸福度調査との読み比べ。		○	○	○	1
	Lesson7 To Stop Plastic Pollution	<題材内容とねらい> マイクロプラスチックによる海洋汚染。SDGsとも深く結びついたこの問題のメカニズムと解決策について読む。	<文型・文法事項> S+V+it+C+to-不定詞／関係副詞 仮定法過去／仮定法過去完了 <五領域の知識・技能> パラグラフの構造 キーワード・言い換え表現	○	○	○	18
	Lesson8 Stories to Be Passed On	<題材内容とねらい> 2016年の広島スピーチでオバマ大統領は「原爆を落とした副機銃士を許した女性」に言及した。その女性、近藤絨子さんの平和に対する考えとは？		○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	Lesson9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand	<題材内容とねらい> ディープラーニングなどAIの仕組みを学び、AIと共存できる世の中とはどのようなものか考える。	<文型・文法事項> 分詞構文(現在分詞)／関係詞の非制限用法 <五領域の知識・技能> 事実や情報を伝える表現	○	○	○	13
	Optional Lesson The Safe	<題材内容とねらい> 金庫破りのジミーは、ある女性と恋に落ち、足を洗うことを決意する。ある日、子供が金庫に閉じ込められる。刑事も見ている中、ジミーの決断とは？	<文型・文法事項> 既習事項 <五領域の知識・技能> 既習事項	○	○	○	6
	学年末考査						合計 105

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 英語 科目 論理表現 I

教科：英語 科目：論理表現 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～7組
 教科担当者：(1、2組：深田・青柳・中谷)(3、4組：中谷・入倉・青柳)(5、6組：入倉・青柳・中谷)(7組：入倉・深田)
 使用教科書：(ATLANTIS LOGIC & EXPRESSION I STANDARD)
 教科 英語 の目標：
 【知識及び技能】 英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、
 【学びに向かう力、人間性等】 その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の特徴やきまりに関する事項の理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
Lesson1	<題材内容とねらい> 自分自身について話し、相手について知る	<文型・文法事項> to-不定詞／動名詞 <五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文	○	○	○	4
Lesson2	<題材内容とねらい> 日課を説明する	<文型・文法事項> 頻度に関する副詞 <五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文	○	○	○	6

1 学 期	定期考査			○	○	○	1
	Lesson3	<題材内容とねらい> 招待、承諾、拒否をする。趣味について話す	<文型・文法事項> 提案の基本形 <五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文	○	○	○	6
	Lesson4	<題材内容とねらい> アドバイスを、日本を観光する	<文型・文法事項> アドバイスの基本形 <五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	Lesson5	<題材内容とねらい> 日本と米国の高校生活の違いについての自分の考えを伝える	<文型・文法事項> 許可の基本形 過去形 WH疑問詞＋一般動詞	○	○	○	11
	Lesson6	<題材内容とねらい> 過去の休暇について説明する	<五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文				
	Lesson7	<題材内容とねらい> 「何をしたいか」について尋ね合うやりとりをする					
	定期考査			○	○	○	1
	Lesson8	<題材内容とねらい> 子供時代について話す	<文型・文法事項> used to ~ (かつて～していた) 比較級 最上級	○	○	○	16
	Lesson9	<題材内容とねらい> 大都市と小さな街を比較する	<五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文				
Lesson10	<題材内容とねらい> ～のなかで一番」を表現する						
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	Lesson11	<題材内容とねらい> 願望を表現する	<文型・文法事項> wish を使った仮定法 if+would を使った仮定法	○	○	○	8
	Lesson12	<題材内容とねらい> 「～するとしたら…」を想定しやり直しをする	<五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文				
	Lesson13	<題材内容とねらい> 経験について話す	<文型・文法事項> 現在完了形 関係代名詞 関係副詞	○	○	○	6
	Lesson15	<題材内容とねらい> まわりの人々や世界の国々について情報や考えを伝え合う	<五領域の知識・技能> 習った文法事項を使ってグループワーク、ペアワーク、英作文				
	Lesson16	<題材内容とねらい> 日米の祝日の違いについて情報を交換する					
	定期考査			○	○	○	1
合計							70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍))
 教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、関連する技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第5章 共に生き、共に支える 【知識及び技能】 ・人の一生について、ライフステージ全体を見通し、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解する。 ・社会で支え合う仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・よりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の構築に向けて、主体的かつ協働的に取り組む。	・人生を展望する ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会 ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物	【知識及び技能】 ・青年期の発達課題や5つの自立、家族にかかわる様々な名称と内容を理解している。 ・社会で支え合う仕組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者との価値観の違いに気づいたり、自立しなげればいけないことを整理したりして考察することができる。 ・家族類型や世帯の変化を理解し、その理由について根拠をもとに説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立を達成するために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。 ・家族・家庭のよりよい生活のために課題の解決に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8

1 学 期	<p>第3章 子どもと共に育つ</p> <p>【知識及び技能】 ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供を生み、育てることの意義について考え、子ども、子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子供への適切なかわり方を考えたり、保育について考え、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・命を育む ・子どもの育つ力を知る <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・子供の健全な発達を支援するために必要な基礎的・基本的な知識・技術身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親や保育者として必要なかわり方を考え、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乳幼児の心身の発達や特徴に興味・関心をもち、どのように子供とかわるかわりか考え、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	○	○	○	10
	<p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について課題の発見と解決に向け考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者がどのような生活を送っているかについて課題の発見と解決に向け考察し、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人の一生における高齢期に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>第9章 経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会のかかわり、家計管理について理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性についてライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立について考え、学習に主体的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・経済的自立の意味や生活に必要な支出と生活資金について理解している。 ・生活における経済と社会のかかわりについて理解を深め、消費生活の現状と課題について情報の収集・整理が適切にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来送りたい生活をイメージし、実現するための方法について、実際の生活に即して具体的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済的自立の必要性を理解し、自分の理想とする生活をめざそうとする意欲がある。</p>	○	○	○	9
	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 ・生涯を見通した住生活について考えるとともに、住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性について実際の生活から課題を発見し、解決に向け考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住生活と住環境について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な住生活 ・住生活の文化と知恵 <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性について実際の生活から課題を発見し、解決に向け考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・住生活と住環境について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして自分の理想とする生活をめざそうと意欲的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	7
	<p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料や被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい衣生活に向けて考え、主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・被服実習 <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・被服材料や管理について科学的に理解し、健康で快適な衣生活を送るための基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身が衣生活を営む主体であることを意識し、幅広い視点から衣生活を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの力で衣生活をマネジメントできるよう考え、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第6章 食生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「食べる」ことの意義や重要性について考えるとともに、健康や環境に配慮した食生活について考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の食生活について振り返り、よりよい食生活に向けて主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理実習 <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業への取り組み ・提出物 	<p>【知識及び技能】 ・一生を過ごす体をつくるために食事の重要性について理解し、食生活や調理に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の食生活について振り返り、社会的状況などと関連させながら課題の発見と解決に向けて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の重要性を認識し、よりよい食生活を送るために自分の食習慣に向き合い、主体的かつ協働的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
合計							70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者：（1～7 組：原口 剛）
 使用教科書：（高等学校 情報 I）

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解、情報機器の操作の基本的な技術の習得ができています。
 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。
 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

科目 情報 I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけるとともに、情報社会と人のかかわりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		情報で問題を解決する	<ul style="list-style-type: none"> 様々なメディアの特徴や、情報の適切な使用方法について理解させる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。 	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・P-study(Web教材) ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○
	情報技術が社会に及ぼす影響	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解させる。 インターネット上のトラブルなどを学び、情報技術の適切な活用について理解させる。 		○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	情報を伝える	<ul style="list-style-type: none"> 情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解させる。 デジタル情報のデータ圧縮の原理と具体例について理解させる。 	【知識・技能】 ・定期考査 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・P-study(Web教材) ・グループワーク時のプレゼン等	○	○	○	9
	情報デザイン	情報デザインについて、情報を抽象化・構造化・可視化する方法を習得し、情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切な表現方法を選択できるようにする。		○	○	○	7

			定期考査		○	○	1	
2 学 期	コンピュータを活用する	<p>情報社会でよりよく生きるために、情報モラルにもとづいた行動や、定められている法規・制度について理解させる。</p> <p>・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・P-study(Web教材) ・グループワーク時のプレゼン等 		○	○	7	
	コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な構成を理解させる。 ・OSやアプリケーションプログラムのちがいなど、ソフトウェアの基本的な内容を理解させる。 			○	○	10	
				定期考査		○	○	1
	ネットワークの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解させる。 ・通信の信頼性を確保するための方法について理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・P-study(Web教材) ・グループワーク時のプレゼン等 		○	○	4	
	データを活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解させ、実際の問題解決に活用できるようにする。 ・モデルのちがいによってシミュレーションの結果や精度が異なる場合があることを理解させる。 			○	○	7	
			定期考査		○	○	1	
	データベース	データベースが活用されている情報システムについて、その種類や特徴を理解させるとともに、それ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 					

3 学 期		<p>内容を理解できるように、それらが社会生活に果たす役割と影響を理解させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・P-study(Web教材) ・グループワーク時のプレゼン等 	○	○	○	3
	データの分析(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・データを分析する前に必要となる、データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類について理解させる。 ・数学的なデータ分析の基礎を理解し、表計算ソフトウェアなどを使って簡単な数学的データ処理や分析を行う。 		○	○	○	6
	映像制作実習	<p>身近な題材を捉えて、映像企画～映像撮影～映像編集までの実習を行う</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物（作品） <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物（企画書・作品） <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・グループワーク時のプレゼン等 	○	○	○	5
		学年末考査			○	○	
							合計
							70